災害時に避難支援を受けるための備え

この制度は、大きな災害が発生したときに、地域の方々の協力により、自分で避難が困難な方を安全な場所に避難誘導する制度であります。

災害時には、地域の方々も被災することがありますので、登録したからといって、支援を保障するものではありません。 災害に備えて、普段から自分でできることは、自分で行うようにしましょう。

１．自治会（自主防災組織）の自主防災訓練をはじめ、地域の行事や活動に積極的に参加して、災害時に避難支援が迅速に行ってもらえるよう、普段から声をかけあえる良好な関係を築いておきましょう。

２．支援をしてくれる方（支援者）に、あらかじめ自分の状況を伝えておき、必要な避難支援が受けられるようにしておきましょう。

３．災害時に地域の方々による支援活動が迅速に行えるように、住所、氏名、生年月日、性別、既往症、掛り付け医療機関、緊急連絡先などを記入した、メモ帳などを作成して、支援者にいつでも渡せるようにしておきましょう。

４．避難の場合の非常持出品は、介助や手をつなぎながらの避難を考えて、背負いやすいリュックなどに、重くならないよう入れて、いつでも取り出せる場所に、用意しておきましょう。

５．服用している薬は、直ぐに持ち出せるようにしておきましょう。